

基本計画(素案) 施策指標及び考え方等(H29.7.3時点)

資料 2

No.	施策	指標名	指標の根拠と 目標値の考え方	現状 (年・年度)	目標 (H39年度)	指標の出典や 算出方法	備考
1	111	市民平和のつどい参加者数	非核平和への貢献についての状況を表す指標として設定。非核平和への貢献の施策について満足している市民を増加させること目標に設定。	3,335人 (H28年度)	3,800人	本市実績による	
2	112	人権に関する啓発活動や講演会などへの参加者数	人権に関する啓発の取組の状況を表す指標として設定。人権に関する啓発活動や講演会などへの参加者数を増やしていくことを目標に設定。	53,928人 (H28年度)	58,000人	本市実績による	活動指標
3	113	審議会などの委員における女性の割合	市の政策形成の過程において女性の参画が進められてきた成果を表す指標として設定。審議会などの委員における女性の割合を増やすことをめざし、男女の比率が等しくなることを目標として設定。	34.5% (H28年度)	50%	審議会などにおける女性委員数/審議会などにおける委員総数×100	
4	113	交際相手への暴力(デートDV)に関する啓発講座の市内中学校における実施校数	DVの防止に向けた取組の状況を表す指標として設定。市内中学校におけるデートDVに関する啓発講座の実施校数	4校 (H28年度)	18校	本市実績による	活動指標
5	121	市民委員の公募を行っている審議会などの割合(公募不可なものを除く)	市政への市民参画の機会提供の状況を表す指標として設定。公募を行っている審議会などの割合を増やすことを目標に設定。	78.8% (H28年度)	100%	市民委員の公募を行っている審議会などの数/公募不可なものを除く審議会などの数×100	活動指標
6	121	市民公益活動団体として届出をしている団体数	市民と行政の協働が進められてきたことを表す指標として設定。市民公益活動団体として届出をしている団体数を増やすことを目標に設定。	274件 (H28年度末)	330件	本市実績による	
7	122	自治会加入率	コミュニティが活性化された成果を表す指標として設定。自治会加入率を増加させることを目標に設定。	51.6% (H28年度)	53%	自治会に加入している世帯数/総世帯数(住民基本台帳)×100	
8	123	市ホームページにおける1ヶ月あたりの閲覧者数(年間平均)	市ホームページにおいてわかりやすい情報提供が行われた成果を表す指標として設定。市ホームページの1ヶ月あたりの閲覧者数を増やすことを目標に設定。	128,339人 (H28年度)	200,000人	本市実績による	

9	211	各種団体との防災協定締結数	災害時にも迅速かつ的確な対応を行える体制が整っていることを表す指標として、災害時に協力を得られる各種団体を増やすことをめざし設定。	55件 (H28年度)	100件	本市実績による	活動指標
10	212	連合自治会単位での自主防災組織の結成率	「共助」の体制が整備されていることを表すものとして、各連合自治会に自主防災組織が結成されることを目標に設定。	64.7% (H28年度)	100%	本市実績による	
11	213	消防団員数	消防体制の充実が図られたことを表すものとして、吹田市消防団条例第3条に規定する定員数に基づき目標に設定。	178人 (H29年)	250人	本市実績による	
12	213	普通救命講習等の年間受講者数	救命率向上に資する自主救護能力の向上を表すものとして、本市の生産年齢人口の40%(約100,000人)に対してAEDを含む普通救命講習等を実施することを目標に設定。	9,352人 (H28年度)	10,000人	本市実績による	活動指標
13	221	防犯に関する講座の年間受講者数	一人ひとりの防犯意識の向上が犯罪の発生しにくい地域づくりにつながることから、防犯意識の高い市民を増加させることをめざし設定。	848人 (H28年度)	1,000人	本市実績による	活動指標
14	222	消費者向けの講座の年間受講者数	消費生活に必要な知識を習得する消費者教育の成果を表すものとして、年6回の講座で各100人が受講することをめざして設定。	504人 (H28年度)	600人	本市実績による	活動指標
15	311	シルバー人材センター会員数	高齢者の生きがいがいづくりと社会参加の成果を表す指標として設定。自らの経験を生かし、地域で活躍する高齢者を増やすことをめざして設定。	1,842人 (H28年度)	2,200人	本市実績による	活動指標
16	312	要支援・要介護の認定を受けている75歳以上の高齢者の割合	介護予防などの取組の成果を表す指標として設定。2025年を見据え、後期高齢者が増加する中でも、介護を必要とする高齢者を増やさないことをめざし、平成29年の国の実績値(32.13%)以下を目標に設定。	34.4%	32.0%	本市実績による	

17	312	認知症サポーターの累計養成数	高齢者を地域で支え合う体制づくりが推進していることを表す指標として設定。認知症への理解を広げる啓発事業を進め、年間3,600人が受講できることを目指して設定。	17,403人 (H28年度)	57,700人	本市実績による	活動指標
18	313	受けている介護サービスに満足している利用者の割合	介護保険制度の適切な運営を表す指標として設定。ホームヘルプ、訪問リハビリやデイサービスなど、介護サービスに満足している利用者の割合を増やすことをめざして設定。	67.8% (H28年度)	70%	「吹田市高齢者等の生活と健康に関する実態調査」による	
19	321	ホームヘルプなど訪問系サービスの月平均利用者数	障がい者が地域で安心して暮らせる環境が整っていることが重要であることから、障がい者の日々の暮らしを支援する取組の成果を表す指標として設定。	1,274人 (H28年度)	1,800人	本市実績による	
20	321	グループホームの月平均利用者数	障がい者が地域で安心して暮らせる環境が整っていることが重要であることから、障がい者の自立した地域生活を支援する取組の成果を表す指標として設定。	337人 (H28年度)	700人	本市実績による	
21	322	移動支援事業の月平均利用者数	障がい者の社会参画の促進が重要であることから、余暇活動などの外出の際の移動支援の取組の成果を表す指標として設定。	1,059人 (H28年度)	1,200人	本市実績による	
22	322	就労継続支援(非雇用型)事業所における工賃の平均月額	障がい者の社会参画の促進が重要であることから、就労支援の取組の成果を表す指標として設定。	13,187円 (H27年度)	18,000円	本市実績による	
23	331	小地域ネットワーク活動の延べ参加人数(地区福祉委員含む)	住民同士の交流促進が図られた成果を表す指標として設定。地域活動への住民参加を増加させることをめざし設定。	83,175人 (H28年度)	88,000人	本市実績による	
24	331	福祉避難所支援ボランティアの事前登録者数	災害発生時に要援護者への支援を迅速に行える体制が整っていることを表す指標として設定。福祉避難所の開設・運営に必要なボランティアを増加させることをめざし設定。	0人 (H28年度)	130人	本市実績による	活動指標

25	332	就労支援専門員が関わる就労支援により就労に結び付いた人数	生活困窮者の経済的自立を図ることが重要であることから、稼働年齢層(15～64歳)を主とした就労支援などの取組の成果を表す指標として設定。	72人 (H28年度)	90人	本市実績による	
26	341	健康寿命	生涯にわたり健康で心豊かに暮らせる市民を増やすことを目標として、市民一人ひとりの健康づくりを支援する取組の成果を表す指標として設定。	男性:79.94歳 女性:83.66歳 (H22年)	男性:81歳 女性:85歳	「健康寿命の算定方法の指針(平成24年9月厚生労働科学健康寿命研究)」に基づき算出	
27	341	生活習慣改善に取り組む市民の割合	市民の主体的な健康づくりを支援する取組の成果を表す指標として設定。 目標値は、健康すいた21(第2次)におけるH32年度目標をもとに、H39年度まで延長したものと設定。	男性:53.4% 女性:59.1% (H28年度)	男性:55.8% 女性:63.0%	「健康すいた21(第2次)」による	
28	342	健都での健康づくりのためのプログラムの年間実施件数	健都における市民の健康づくりや生きがいづくり等の支援の取組の成果を表す指標として設定。 健康増進公園や健都ライブラリー等での健康づくり等に係るプログラムを継続的に実施していくことを目標として設定。	0件 (H28年度)	180件	本市実績による	
29	343	地域医療推進に関する講演会等の累計参加者数	地域医療体制の充実のためには、医療機能の分化・連携の推進が重要であることから、在宅医療の推進やかかりつけ医の定着促進等の市民啓発の取組の成果を表す指標として設定。	0人 (H28年度)	950人	本市実績による	活動指標
30	411	子育て支援コンシェルジュの利用者数	必要とされる子育て支援につなげる取組の成果を表す指標として設定。 子育てに関する情報収集や相談を受ける利用者数の増加を目標として設定。	1,125人 (H28年度)	5,000人	本市実績による	活動指標
31	412	保育所などの待機児童数	働きながら子育てができる社会環境の整備状況を表す指標として設定。 地域や年齢を問わず、保育を必要とするすべての子どもが教育・保育を受けられることを目標として設定。	230人 (H28年度)	0人	本市実績による	活動指標
32	413	要保護児童のうち、虐待レベルが重度及び中度の児童の割合	要保護児童のうち、重度・中度の児童の割合を表す指標として設定。 見守り活動などにより要保護児童が減少することを目標として設定。	24.3% (H28年度)	10%以下	重度・中度の児童数 ÷要保護児童数×100	活動指標

33	413	就業相談の利用により就業につながったひとり親の人数	就業支援が必要なひとり親に対し、就業に関する情報を提供するなどの取組の成果を表す指標として設定。 面談を通じて、支援が必要なひとり親に対する相談を受けることにより、就業につなげることを目標として設定。	10人 (H28年度)	50人	本市実績による	活動指標
34	421	いじめの解消率	いじめの認知件数のうち、いじめが解消された割合。すべての解消を目標とする。 法律の改正により、平成29年4月に文部科学省が調査条件を変更し、いじめの解消後3か月を見守り期間と新設したため、平成29年度以降は、現状と算出基準が若干異なる。	小学校 95.0% 中学校 100% (H28年度末)	100%	文部科学省「問題行動等調査」による	
35	421	英検3級程度の英語力を有する中学3年生の割合	英語教育を小学校から導入する成果を表す指標として設定。 中学3年生相当の英語力を有する生徒を増加させることを目標として設定。	37% (H28年度)	70%	英検3級程度の英語力を有する中学3年生の人数/中学3年生の人数×100	
36	422	小・中学校の校舎及び体育館の大規模改修の実施率	安全で快適な学校施設の管理状況を表す指標として設定。 老朽化対策が必要な施設(校舎:47校、体育館:41校)の改修を計画的に進めることを目標として設定。	18.2% (H29年度)	100% (H36年まで)	実施済校数/実施予定校数×100	活動指標
37	422	小・中学校のトイレ改修の実施率	児童・生徒の生活環境の改善を図る取組の成果を表す指標として設定。 リニューアルを行う学校(53校)のトイレ改修工事(一部)を計画的に進めることを目標として設定。	41.5% (H29年度)	100% (H32年までに)	実施済校数/実施予定校数×100	活動指標
38	431	青少年指導者講習会の年間受講者数	地域において子どもの体験活動などを見守る青少年指導者に対して行っている講習会の参加人数を指標として設定。	289人 (H28年度)	350人	本市実績による	
39	431	青少年施設の主催イベント参加者数	青少年活動サポートプラザ、青少年クリエイティブセンター、少年自然の家、自然体験交流センターで実施している青少年を対象とした講座や体験活動などの参加者数を表す指標として設定。青少年の体験活動の機会の増加を目標として設定。	8,254人 (H28年度)	9,000人	本市実績による	
40	432	留守家庭児童育成室の待機児童数	留守家庭児童育成室の受入体制の整備を表す指標として設定。 保育を必要とする全ての児童を受入れることを目標として設定。	0人 (H28年度)	0人	本市実績による	活動指標

41	432	「太陽の広場」と「地域の学校」の年間実施回数	放課後や土日の子どもたちが異年齢交流などの体験ができる活動の実施回数を表す指標として設定。 さまざまな体験・活動を提供できる回数の増加を目標として設定。	2,250回 (H28年度)	2,400回	本市実績による	活動指標
42	441	市民大学講座の年間受講者数	現代的課題に関する学習活動の推進の成果を表す指標として設定。 現代的課題について学習する市民が増加することを目標として設定。	2,149人 (H28年度)	3,000人	本市実績による	活動指標
43	442	地区公民館の年間利用者数	地区公民館で生涯学習活動が行われていることを表す指標として設定。 地域で生涯学習活動や多世代交流を行う市民が増加することを目標として設定。	460,672人 (H27年度)	466,200人	本市実績による	活動指標
44	442	図書館の年間入館者数	図書館での資料の閲覧、本の貸出、講座への参加など図書館が有効に活用されることを表す指標として設定。 図書館を利用する市民が増加することを目標として設定。	199万人 (H28年度)	222万人	本市実績による	活動指標
45	511	市域の年間エネルギー消費量	エネルギー消費量を抑制することがCO2排出抑制につながることから、「吹田市地球温暖化対策新実行計画(改訂版)」に掲げる目標と長期目標から算出し設定。	23.1PJ (H25年度)	13.4PJ	「吹田市地球温暖化対策新実行計画」による	
46	511	市域における太陽光発電システム設備容量(累計)	再生可能エネルギーの普及啓発の成果を表すものとして、太陽光発電システムの設置数が増加することを目標に設定。	11,719kW (H26年度)	33,000kW	「吹田市地球温暖化対策新実行計画」による	
47	512	市民1人当たりの一日のごみ排出量	ごみ減量の取組の成果を表すものとして、大阪府でごみの排出量が最も少ない自治体の量を参考に設定。	853g (H27年度)	760g	「吹田市第2次環境基本計画」による	
48	512	リサイクル率	ごみ資源化の取組の成果を表すものとして、大阪府に比ベリサイクルの取組が進んでいる東京都の各都市が達するレベルを目指すものとして設定。	16.6% (H27年度)	25%	「吹田市第2次環境基本計画」による	

49	513	公害に関する苦情を解決した割合	良好な生活環境を保全するための取組が進んでいることを表すものとして設定。事業者等への指導により、苦情の原因が解消される割合が増加することをめざし設定。	60.6% (H28年度)	80%	本市実績による	
50	513	環境美化推進重点地区の指定数	生活環境及び美化意識の向上を図るため、市内全ての駅周辺地区を環境美化推進重点地区に指定することをめざし設定。	7地区 (H28年度)	15地区	本市実績による	活動指標
51	611	まちづくりのルール(地区整備計画)の策定地区数[面積]	地域の特性を生かしたまちづくりが進められたことを表す指標として、地域整備計画の策定地区数を増やすことを目標に設定。	51地区 [125.4ha] (H28年度)	70地区 [150ha]	本市実績による	
52	611	景観に関するルール(景観重点地区)の指定地区数[面積]	地域の特性を生かし、良好な景観形成の取組が進められたことを表す指標として、景観重点地区の指定地区数を増やすことを目標に設定。	20地区 [88.7ha] (H28年度)	30地区 [130ha]	本市実績による	
53	612	住宅の耐震化率	市内住宅の耐震化が進められ良好な市街地環境の形成が図られたことを表す指標として設定。国の目標に基づき、目標値を設定。	81.4% (H27年度)	95%	耐震性を満たす住宅数/住宅総数×100	
54	613	緑化重点地区の地区数	地域の特性を生かし、緑化が進められたことを表す指標として、緑化重点地区の地区数を増やすことを目標に設定。	2地区 (H28年度)	3地区	本市実績による	
55	614	腐朽・破損のある空き家の割合	住宅ストックを有効活用するとともに、良好な住環境の形成が図られた成果を表す指標として設定。大阪府「住まうビジョン」に基づき、目標値を設定。	28.7% (H25年度)	10%	「住宅・土地統計調査」による	
56	621	重点地区内の主要な生活関連道路などのバリアフリー化率	道路などのバリアフリー化が進められたことを表す指標として設定し、国の目標に基づき、平成32年度末までに生活関連経路の整備率を100%にすることを目標に設定。	50.9% (H28年度)	100% (H32年度までに)	バリアフリー化された生活関連経路などの延長/重点整備地区における生活関連経路などの延長×100	

57	621	都市計画道路の整備率	都市計画道路を計画的に整備することを目標として設定。	91% (H28年度)	96%	完成済み都市計画道路延長／都市計画道路の計画延長×100	
58	622	自転車通行空間の整備延長	自転車利用者が安全に通行できる空間を形成されたことを表す指標として、「吹田市自転車利用環境整備計画」に基づき整備を進めることを目標として設定。	0.7km (H28年度)	40km	本市実績による	
59	623	公園などの面積	公園などの公共のみどりが整備されたことを表す指標として、公園などの面積を増やすことを目標に設定。	327.2ha (H28年度)	331ha	都市公園、緑地などの合計面積	
60	624	水道基幹管路の耐震化率	災害に強い水道システムの構築が図られたことを表す指標として設定。水道管の中でも重要な役割を担う基幹管路の耐震化を計画的に進めていくことを目標として設定。	39.1% (H27年度)	54%	基幹管路耐震管延長／基幹管路延長×100	
61	624	下水道管路の更新及び長寿命化延長	下水道管路の老朽化に対応するため、計画的に更新及び長寿命化を進めることを目標として設定。	17.4km (H28年度)	50km	本市実績による	活動指標
62	711	開業率と廃業率の差	地域経済が活性化されたことを表す指標として「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づき、市内の事業所数を増やすことを目標に設定。	2.1ポイント (H26年)	3ポイント	総務省「経済センサス」による	
63	711	商店街及び小売市場における空き店舗率	地域経済が活性化されたことを表す指標として設定。「吹田市商工ビジョン2025」に基づき、一人ひとりの従業員の労働生産性を高めることを目標として設定。	8.9% (H28年度)	7%	総務省「経済センサス」による	
64	712	JOBナビすいたを活用した年間就職者数	就労支援の成果を表す指標として、JOBナビすいたを活用した就職者数を増やすことを目標に設定。	602人 (H28年度)	630人	本市実績による	

65	721	メインアター(文化会館)の年間入館者数	芸術にふれることができる機会づくりの取組の状況を表す指標として設定。メインアター(文化会館)の入場者数を増加させることを目標に設定。	485,878人 (H28年度)	500,000人	本市実績による	活動指標
66	722	吹田市立博物館の年間入館者数	文化財の活用状況を表す指標として設定。吹田市立博物館の入館者を増加させることを目標に設定。	31,663人 (H28年度)	35,000人	本市実績による	活動指標
67	723	地域におけるスポーツ活動などのイベントへの年間参加者数	スポーツに親しめる機会づくりの取組の状況を表す指標として設定。地域スポーツなどに関するイベントへの参加者数を増加させることを目標に設定。	22,861人 (H28年度)	25,000人	本市実績による	活動指標
68	731	吹田まつりへの協賛・協力団体数	吹田まつりの活性化に向けてさまざまな主体の協力が進んできたことを表す指標として設定。吹田まつりへの協賛・協力団体数を増やすことを目標に設定。	463団体 (H28年度)	550団体	本市実績による	
69	731	情報発信プラザ(Inforestすいた)への年間入場者数	多くの人に市の魅力について情報発信されたことを表す指標として設定。情報発信プラザ(Inforestすいた)への年間来場者数を増やすことを目標に設定。	255,867人 (H28年度)	300,000人	本市実績による	
70	732	大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数	大学との連携が進められてきたことを表す指標として設定。大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数を増やすことを目標に設定。	72回 (H28年度)	90回	本市実績による	
71	732	市内でのガンバ大阪の試合のパブリックビューイング年間実施回数	ガンバ大阪ホームタウン活動の取組の状況を表す指標として設定。市内でのガンバ大阪の試合のパブリックビューイングを年間5回実施することを目標に設定。	1回 (H28年度)	5回	本市実績による	活動指標
72	811	財政調整基金残高	年度間の財源の不均衡を調整するために必要な積立金の水準を表す指標として設定。当初予算編成のために必要となる水準を目標として設定。	105億円 (H27年度)	100億円程度(当初予算の1割)	本市実績による	

73	811	公債費負担比率	公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合を表す指標として設定。将来負担が過度とならない水準を目標として設定。	7.0% (H27年度)	10%以下	本市実績による	
74	812	一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合	一般建築物を対象とした吹田市公共施設最適化計画【実施編】に基づき、同計画の計画期間である平成32年度末までに、個別施設計画を策定する施設の割合を目標として設定。	0% (H28年度)	100% (H32年度)	個別施設計画策定済数／個別施設計画策定予定数×100	活動指標
75	813	ICTを活用した行政サービスの稼働休止時間	共通基盤システムの故障や大規模なネットワーク障害などの発生を防止、行政サービスを安定的に提供することを表す指標として設定。行政サービスを継続的に提供することを目標として設定。 ※現状値は(平成29年1月から3月の実績)×4	204分 (H28年度)	0分	本市実績による	活動指標
76	814	職員の研修満足度	人事室が主催する研修内容に対する市職員の評価点を研修満足度を表す指標として設定。効果的な研修を実施するため、研修内容の充実を図り、評価点が増加することを目標として設定。	85.4% (H28年度)	90%	本市実績による	